

# 10月号 ぶどう・りんごぐみだより

担任 東ゆかり 岩永千景

朝・夕の空気がひんやりして、心地の良い季節になりました。子ども達も運動会に向けていろんな課題に向けて、皆で力を合わせて取り組む中で、友達同士の絆もさらに深まっているところです。また、秋は、どんぐり、まつぼっくり、バッタ、カマキリ、コオロギ、トンボと子ども達の大好きな自然がいっぱいあります。自然の中で身体をいっぱい動かして秋を満喫したいと思います。

## 10月の行事

- 5日(土) 親子稲刈り
- 8日(火) 交通訓練
- 10日(木) 運動会リハーサル・お弁当の日
- 18日(金) 食育の日
- 20日(日) お山の大運動会
- 21日(月) 代休
- 26日(土) 保育園説明会(場所ハーモニーホール)
- ※お知り合いの方がいらっしゃいましたら、是非お誘い下さい
- 29日(火) 火災訓練(消防署立合い)
- 30日(水) お楽しみ会

- \* 歯ブラシの交換をお願いします。新しい歯ブラシに名前を記入して持たせて下さい
- \* 10月も毎日水筒を持たせて下さい
- \* 土曜日にお休みをされる方は、水曜日までにお知らせください
- \* 10日(木)の運動会リハーサルはお弁当(おかずつき)、水筒、シート、濡れおしぼりを持たせて下さい
- \* 運動会当日の服装
  - ぶどう組—紫の絞り染めTシャツと体操ズボン ゼッケンは前のみつけて下さい
  - りんご組—赤の絞り染めTシャツと体操ズボン ゼッケンは前後につけて下さい。

## 今月の歌

わたしとことりとすずと  
機関車の歌・星のしっぽ  
秋・くろずみ小太郎の歌  
うれしかったのしい運動会

## 今月の絵本

・サツマイモの図鑑 ・くろずみ小太郎旅日記・いまがたのしいもん  
おおきなおいも  
・ふゆじたくのおみせ

## ～10月生まれのお友だち～

＜お誕生日おめでとう＞ ぶどう組  
にしやま よしかさん 10・4生(5歳)



任された当番などしっかり役割を考えて取り組んでくれます。とても丁寧に片づける姿にいつも感心します。課題の竹馬、跳び箱、鉄棒逆上がりもひたむきに取り組み、目標に向けて諦めず取り組んでくれています。コツコツと取り組む姿は本当に素敵です。

## ○生活

### ◆食育 ◆クッキング活動～おつきみお団子づくり～

9月30日の十五夜を前に、「そうべいまっくろくろのすけ」を読み聞かせし、お月さまに興味を示した子どもたち。子ども達同士でも、「昨日ね、お月様みたらもうすぐまんまるになりそうだった。もう少しだった」「うん、ぼくもみた!」「おおきくなりよらしたね」等、お月様に関する会話も聞かれました。



そして、お月見会では、保育士による『うさぎのダンス』の劇を見ました。そして、うさぎさんから「秋は、沢山の作物が実ります。それはお月様の力のおかげです」という言葉を聞いて、皆で感謝の気持ちを込めて、お月見団子を作りました。丸めている時は、「まーるくなれ」「コネコネコネて～」「なんか卵見たい」「ソーセージみたい」とつぶやいたり、「そうしたら、綺麗に出来ないよ」「大きいのは小さくしなくちゃ」「これぐちゃぐちゃになってる、綺麗にしないと やり直し」とお互いに教え合いながら小さなお団子を作りました。湯がくときは「なんか熱い～」と言いながらもお団子をお鍋に入れて湯がきました。すくい取るのもとても上手で冷水にさっと入れて冷やしました。お団子のぬめりを取るために洗う時は「プニプニだ」「ムニャムニャしてる」「きもちいい」「グニグニ」「ニユルニユルしておもちみたい」「なんか田んぼみたい」とお団子の感触を思い思いに話してくれました。そして、皆で作ったお団子を食べ、お月見パーティーをしました。



やっぱり自分たちで作ったものは、とてもおいしいようで、たくさんお替りして食べた子ども達でした。

## ○自分たちの生活は自分たちで

自分たちの生活は自分たちで創りだしていこう!という事を具体的にを行うために、新たな取り組みを取り入れました。すっかり季節は秋になりましたので、グループ名を変えよう!という事で、秋にちなんだグループ名にしよう子どもたちと話し合いをしました。



「秋」をテーマにするけどどんな風に考えようか?というとき「食べ物がいい、だっておいしいたい!いっぱい食べたいもん」「お花は?かわいいしねコスモスとかいいよね」「虫がいい!かっこいいもん、温泉広場にいるし」「虫がいい。散歩に行ったら見つけられる」という意見に、なるほどー!共感した子どもたち秋の虫をテーマに虫の本を見てから各グループが話し合って決めました。

「こおろぎは鳴き声がかっこいいからこおろぎにしよう」「キリギリスは名前がかっこいいからキリギリスがいい」「おにやんまは羽がかっこいい、すいすいとぶし」とそれぞれにすんなり決まったグループもあれば、何やら意見が分かれているグループも…



「どうする何にする」「やっぱり食べ物がいい、おいもとか」「でも虫だったよ」「鈴虫もかわいいたい」「もう〇〇くんばかり決めんで」と話し合っているうちに、とうとう帰りの時間となってしまいました。「名前が決まっていな所はななしのごんべね」と保育士がいうと「ななしのごんべって何?」と子どもたちから質問があったので、「名前が無いってことよ」と話すと「ななしのごんべなんていやだー」とムキになった子どもたち。「大丈夫、明日決めればいいよ。明日まで待つから何がいいかお家でしっかり考えてきてね」と伝え、次の日に…「僕考えてきた!かまきりは??」「えー一緒だ!僕もかまきりにしようと思ってた」「大きくなったら跳べるし」「跳ぶ所かっこいいね」「僕たちもそうな







りたい」と意見を出し合い、やっとの事決まりました。

それぞれに考えてくれたのは「かまきり」「こおろぎ」「キリギリス」「おにやんま」でした。

さらに新たな取り組み班活動も始まりました。まずはりんご組の子どもたちからサブリーダーを決めること。サブリーダーを経験することで、りんご組の子どもたちが、ぶどう組になった時にリーダーとしての自覚を持つ事、この経験をくぐることで、話し合いの基礎、友だち同士をつなぐ事を学ぶというねらいで取り入れられました。各グループ、サブリーダーを決めるにあたっては難航しました。「僕がしたい」「私もしたい」と主張し合う子どもたち。そこでぶどう組の子どもたちが「給食もさっと食べて、好き嫌い出来ないよ」「準備だってさっと終わらせないと」「だってグループの人を呼ばなきゃいけないもんね」「お友だち叩いたり蹴ったりするのもサブリーダーにはなれない」「ちゃんとお友だちに話して教えられる?」「まだまだサブリーダーは出来ないよ、先生



の話もリーダーの話もちゃんと聞けるようにならないと」「そうだよ、瞑目だってしっかり目を閉じてしないと」「これが出来るようになったらサブリーダーが出来るよ」「でも約束が守れなかったら〇〇ちゃんと交代そうしたら〇〇ちゃんと〇〇くんも次はサブリーダーが出来るよ」と様々なアドバイスがあがりました。この時のぶどう組さんの話の具体的な事に思わず驚いてしまいました。

そしてもう一つ取り入れたのは、グループ当番です。給食当番、布団敷き当番、そうじ当番、テーブル当番。この4つの当番を各グループが責任をもって行う事です。今まではリーダーが中心となり行ってきた事を、今度はリーダーがグループの友だちに教えなければなりません。リーダーシップが重要なカギを握ります。経験豊かなリーダーさんは、「今から給食取りに行くよ〇〇グループ集まって」と声をかけたり、「ぞうきんはもっと絞らないとじゅかじゅかになるよ」「そうそう、そのぐらいいがいいよ」「ゴミが落ちていたら手で拾うね」と雑巾の絞り方や掃除の



仕方を伝えたり、「テーブルを運ぶからみんな来て」「私がこっち持つね」「じゃあ僕はこっち」と段取りよく運んだり「布団は綺麗に敷こう」とみんなが気持ちよく眠るために、シーツをキレイしたりしてくれています。取り組み始めたばかりですが、みんなに役割がある！という事で、生き生きと取り組み、「今日は〇〇当番だ～」「明日は〇〇か！やったー」と楽しみにしてくれています。そして何よりもとても丁寧に取り組む姿にいつも感動しています。これらの取り組みを通して、さらに自分たちの生活は自分たちで作って行こう！という意識が高まっているのではないかと感じています。



### ○全身運動 ～運動会に向けて～

運動会を通して子ども達にどう育って欲しいか、運動会までのクラスのねらいを6つ掲げました。

- 1、今までの積み重ねた力を一人ひとりが十分に発揮する
- 2、友達同士のぶつかり合い、教え合い、励まし合いをする中でクラスの一員であることの喜びを知る
- 3、グループ・チームでの取り組みの中で、支えてくれる仲間がいる事、友達を支えている実感を体験していく。
- 4、「大丈夫。できるようになるよ」という思いの中であきらめない気持ちを育てていく
- 5、同年齢・異年齢の友達関係の中で、互いに支え合い、刺激を受け合い共に育ち合っていく
- 6、子どもの成長を保護者にも知ってもらいながら、共に喜びあっていく



運動会では、『こんなことをやりたい』と自分たちで決めた目標に向かって、コツコツと練習しているこども達です。「前はできなかったけれど、今日はここまで出来た」と出来た事が自信となって進んで

いっています。しかしその反面、出来ない自分に会い揺れ動いたり、今日は違う事をして遊びたいなと思ったりして練習に身が入らない事もあります。ひとつの事に取り組むにあたって、子ども



達の心の中にはいろんな思いや葛藤があります。お家でも、ぜひ話題にさせていただき、応援したり支えていただけたらと思います。

### 憧れのリレー！～心一つにつなげよう！～



温泉広場でリレーの取り組みをしました。去年はどうやってリレーをしていたの？と尋ねると「僕たちがりんごの時は半分走ったよね」「ぶどうさんは一周だったから…私たち一周走るんだ!」「やったー」とぶどう組の子どもたちはワクワク

していました。りんご組の子どもたちは、「半分走るの?」「ここからあそこまで??」とフィールドを見つめドキドキが募っているようでした。早速、青チーム、ピンクチームに分かれてリレーを取り組む事にしました。説明はしましたが、初めてコーナーを使うリレーをするりんご組さん。相手にバトンを渡そうと思っているのですが、コーナーに添って行かず、一直線に走ったりする姿も。勝負事となると真剣なぶどう組さんですが、今回のぶどうさんの寛容な事…思わず笑いもこぼれ「大丈夫ばい、あそこを通過しておいでね」と諭す姿も。自分たちもそうだったな…と思いだしたのでしょうか。失敗しても大丈夫。次は頑張ろうと支えてくれる姿に頼もしさを感じました。少しずつ話し合いを増やし、誰が最初に走ったらいいか、最後は誰にするか決めていきます。子どもたちはまだまだリレーをする事自体が楽しい!という思いが大きいようです。だけど、きっと回をこなすごとに、色々な思いも沸き起こってくると思います。どんなドラマが生まれるか楽しみにしています。

### ○造形 くり作り

今月の折り紙は「栗」を作りました。りんご組さんはまずは自分たちで見本を見て折ってみよう!という事で自分たちにの力でどこまで折れるかやってみました。見本を見ながら「どうやってするんだろう」「次はどこかな?」「なんか難しいな…」とつぶやいていた子どもたちです。保育士の説明を聞き、思考錯誤して折り、友だち



同士で教え合い折っていましたが、どこまで折っていたか分からず、せっかく折っていた所も全部広げてしまう子もいました。「えーここまで折ったのに」「もう一回しよう」と一緒になって残念がり、友だちの為に教え支えようとする姿に成長を感じました。





ぶどう組さんは、①～⑨までの行程の見方をしっかり見て、自分たちの力で折り上げました。「ここはどうやるの?」「あれ??なんか違うかな」と時には友だちのを見比べながら折る姿も…。

自分の力で折れた事に喜びを感じ、「覚えたからもう一回折りたい」と意欲を見せていました。嬉しさあふれる笑顔が素敵でした。りんご組の子どもたちもきっとぶどう組さんになったらこのような姿を見せてくれると思います。その時が楽しみです。

### ○「アラジンと魔法のランプ」を見たよ



人形芝居かすべるさんがあさひ保育園に来園して頂きました! どんな人形劇なのかとっても楽しみにしていた子どもたちです。お母さんがアラジンを探す姿を見て「後ろー」「後ろにいるよ」と教えたり、ランプの精がでてくると「うわー大きい!」「怖くないよ、怖くないよ」「怖くないよね…」「なんか煙がでてる、あそこからランプの精がでてくるよ」とつぶやく姿も。怖いかな? どうか? 大丈夫だよね! と言い聞かせているようでした。お姫様が出てくると、「うわーかわいい、きれい、私もこうなりたい」という姿も。憧れの眼差しで見ている姿も印象的で、1人ひとり色々な思いを抱いていたようでした。シリアスなシーンあり、笑いあり、子どもたちの心をとりにしてくれた人形劇でした。最後にぶどう組の子どもたちが描いて手紙と畑で取れた野菜をプレゼントしてお礼を伝えました。観賞している子どもたちの目もキラキラ輝き生き生きとした表情でした。とっても素敵な人形劇でした。



### ○カスベルさんに手紙を書いたよ

人形劇に向けて何かお礼は出来ないだろうか…となげかけると「去年のぶどうさん、手紙書いてた」「私たちも書きたい」「うん、もう字かけるもん」と話がどんどん膨らみます。じゃありんごさんはどうする? とまた投げかけると「折り紙でなんか折ったらいいいね」と提案がありました。そこでこの間折った「栗」なら自分たちで折れる! という事で、りんご組さんは栗を折り、ぶどう組さんは字を書く事に決まりました。



一度折り、折り方を覚えた子どもたちは、以前よりも自信満々です。「私覚えているから大丈夫」「僕もおれるよ、ここに折り方がかいてあるもんね、次はこうでしょ」と覚えた折り方と見本を見ながら以前のように悩む事なく素早く折り上げました。

ぶどう組さんは、「最初のかすべるさんへって書いたらいいいよね」「誰が書く?」「私書けるよ」「僕も」「じゃあ順番にしよう」「〇〇ちゃんは3回書いたからもう交代ね」と言いながら文章を自分たちで考え一文字ずつ丁寧に書きあげてくれました。自分たちの思いを文章にして書くことは、思いを出し、まとめあげなければいけないのでとても難しい事です。筋道を立てて考える力も必要になってきます。だけど1人の力では出来ない事も、みんなの力を合わせれば1つの文章に書きあげることが出来ます。みんなで1つの事を成し遂げるこんな取り組みが出来るのも手紙を書く時の良さでもあります。

ちょっと難しい事に挑戦するぶどう組の子どもたちちょっと不安だけど、みんなでやったら出来たという自信をつけています。そんな姿を憧れの眼差しで見つめるりんご組さん。きっと心のどこかで自分たちも出来るようになりたいと思ってくれたのではないかと思います。

### ○音楽 ～リズム遊び(太鼓・ぶどうくみ)～

本格的に運動会で叩く太鼓のリズムの練習を始めました。今まで、遊び感覚で楽しかった太鼓でしたが、子ども達の中に『運動会で叩くリズムだから、しっかり覚えよう』と、いい意味での緊張感がでてきました。歴代のぶどう組さんが叩いてきた「あさひだいこ そーれ」の掛け声と共に太鼓を叩く姿は、嬉しさとしっかり叩かなくちゃという意気込みが伝わってきます。さらに今年のぶどう組の子どもたちのカラーを出すために、指導をして下さる佐知子先生が様々なリズムを考えて下さり、とてもかっこいいあさひ太鼓に仕上がりました。



繰り返して練習する力、きついでけれど頑張ろうと自分の気持ちを持ち前向きに持っていく力、自分の好きなように叩くのではなく、周りの音を聞きながら合わせていく力が必要です。

りんごさんも『ぶどうさん かっこいい』と尊敬の眼差しで見つめながら、「僕たちもぶどうになったら太鼓する」と来年の自分たちの姿を夢見ているところです。

### ○～ぶどう組共同画～

運動会を前に、絞り染めTシャツの後ろにどんな絵を描くか話し合いをしました。「前のぶどうさんが描いてたから、ぼく達も描きたい」「かっこいいTシャツ作りたい」「くろずみ小太郎は?」「じゃあ僕たちが忍者になっている絵は?」ということで、絵本を見ながら話し合いを進めました。「光のポーズがかっこいいからこれにしよう」「サッとよけているのもかっこいい」「地ってしているポーズもいいな」と一人一人考えを出し合いました。思い思いの忍者を描き、とても素敵な共同画ができました。「かっこいい!」「早く運動会で着たい」とTシャツを着るのを楽しみにしている子ども達です。



### ◆絵本『くろずみ小太郎ごっこ』



「くろずみ小太郎旅日記」の読み聞かせを深める中で、子どもたちの心の中にも、くろずみ小太郎の存在が大きくなってきました。忍者になりたい! 小太郎に会いたい! という思いがどんどん膨らんでいます。忍術の修行表をもらってから、運動遊具に対しての意気込みも高まっています。日々生き生きと過ごしている子どもたち。ある日千景先生の腕が紫色になっていました。子どもたちも「痛そう」と心配してくれました。その中で「もしかしてアメフラシが…」と青ざめる子が。そこで千景先生も「そういえば、雨の中畑のおくらの取りにいったの、そしたら紫色の雨が降ってきてね…」と話し始めると、「やっぱりアメフラシだ! アメフラシの汁がついたんだ」「先生痛い?」「大丈夫?」「このままだったらアメフラシになっちゃう」と心配していました。そこで「どうやったら治るかしら」と問いかけると「病院に行けばいい」「湿布張ったら?」「うん薬買ったらいいい」「でもアメフラシだよ、効かないかも…」と行き詰ってし



まいました。「じゃあどうする、このままだとどんどん傷がひどくなるよ」と投げかけていると、「アッ 小太郎」「くろずみ小太郎から薬をもらったら!」「忍者は薬屋さんだったんだよね」「じゃあくろずみ小太郎にお願いしよう」「電話する?」「電話は持ってないかも」「ほら手紙書いてポストに入れるの!」という事で、ぶどう組の子どもたちが中心となり、手紙の内容をりんご組、ぶどう組の皆で考え、手紙を書きました。そして一生懸命に書いた手紙をポストに入れに行き、「くろずみ小太郎さん、千景先生の腕がよくなるように、薬を下さいとお願いをした子どもたちでした。

### 薬が届いていたよ!

次の日、朝から「先生くろずみ小太郎さんに手紙届いたのかな…薬がなかったよ」「読んでいないのかな」「アメフラシが手紙を取っ



ていっちゃったのかな」「どこにあるか探したんだけどない」と残念そうに伝えるに来てくれました。「お昼寝のあとかな」「みんなが寝ている時につま先歩きで持ってきてくれるかも」「お散歩から帰ったらあるかも」「お庭のポストに届けてくれるかも」「誰かのダンスとかね」期待を寄せる子どもたち。お散歩中も気が気じゃありません。

「先生今、黒い影が見えた」「ほら見て!」とよーく見ると「何だあゆみ先生か、黒い服着てたから間違えた」ととぼとぼ歩く子どもたち。さらにもう一度お山に向かって「くろずみ小太郎さん、千景先生の腕を治すための薬を届けて下さい」とお願いする子どもたちが愛おしくてたまらない場面でした。



期待と不安で帰りついた保育園。「もしかしたら薬があるかも」とワクワクドキドキと部屋に入った瞬間。目に飛び込んできたのは、手紙と葉っぱにくるまれた何かでした。



早速手紙を読みあげ、葉っぱの中身が薬と分かれると大喜びの子どもたち「やったーこれで千景先生の腕を治せる!」「くろずみ小太郎さんありがとう」ととても大きな声でお礼を言っていました。

その後葉っぱの包みを開き、薬を手にした子どもたち。「なんかひ

んやりする」「薬のにおいがする」「本物の薬のにおいだ」「なんかすーってするね」と確認してから、早速千景先生の腕に薬を張り、「千景先生の腕が良くなりますように」とお願いし、みんなで「やったー」とハイタッチして喜び合いました。



子どもたちがこんなに心配してくれるとは、私たちも嬉しい限りでした。休み明けすっかり良くなった腕を見て「紫色じゃなくなっている!」と感激した子どもたちです。



そしてくろずみ小太郎への憧れと会いたい思いをさらに膨らませています。今後もさらなる展開が待ち受けています。その時子どもたちはどうするでしょうか…楽しみです。

### 〇描画



#### 古閑 みれいさん(ぶどう組)テーマ:はないちもんめ

「はないちもんめ楽しい!じゃんけんするところが楽しい。勝つときと負ける時があるけど、勝つ時が嬉しい。お友だちを呼べ手仲間が増えるから。負けたら悔しい。悔しいけど次は勝てばいいから。はないちもんめ何回しても楽しい!だから大好き!」

#### 上野 わかなさん(りんご組)テーマ:はないちもんめ

「みんなではないちもんめをしている所。青チームとピンクチームさんでしている。私と嶋田ほのかちゃんがじゃんけんしている。嶋田ほのかちゃんが勝った。悔しかったけど次は頑張るぞって思った。はないちもんめ楽しかった。」

### 〇クラス会楽しかったね!

9月14日にりんご・ぶどう組のクラス会を行いました。数日前から「先生クラス会楽しみ!だってお母さんが来てくれるもん」「なんかドキドキするね」「かっこいいところ見せたいな」ととても張り切ってくれていました。

保護者の皆様にも見て頂きましたが、普段行っている朝の会・日課の活動では、いつもと違った緊張感が漂っていました。人前で自分の名前を言う事、健康状態を話す事は、とても勇気がいる事です。張り切って言う子、ちょっと恥ずかしがっていた子、意を決して言う子と1人1人の姿が今でも心に残っています。本当に素晴らしかったです。瞑目も約3分間でしたが、しっかり目を閉じ静かな時間が流れた時は、私たちも鳥肌が立ちました。呼吸法も息を吸って、3秒止めて、15秒間で吐くという意識を1人1人の子どもたちが見せてくれたように思います。本当に素晴らしかったです。日々取り組んでいる詩・論語も、短い期間でしたが、本当によく覚えてくれたと思います。お母さんとお父さんに聞かせたいという思いがあったからこそ、しっかり覚えてくれたのではないかと思います。



集団遊びでは、じゃんけんを使ったルールのある遊びを2つ行いました。「花いちもんめ」も普段の話し合いの様子をご覧に頂けたのではないかと思います。顔を寄せ合い、相手チームに聞こえてしまうのではないかと思うぐらい話が盛り上がっていました。本当に可愛い子どもたちの姿だったと思います。負けたチームは悔しそうな表情を浮かべていましたが、次は頑張るぞ!という決意もとっても素敵でした。



新聞紙じゃんけんも親子で楽しんで頂いて良かったです。子どもたちもとっても嬉しそうで本当にこの取り組みをして良かったなと感じました。それぞれに落ちないようにけんけんをして立ち続けたり、つま先立ちをしたり、何より保護者の皆様が真剣勝負をして頂いたからこそ、あそびも盛り上がったように思います。

最後に、それぞれにクラス会の感想を書いて頂き、ありがとうございました。子育ては創意工夫。大人が自分をコントロールすること、それは私たち保育士も一緒です。これからも共に子どもたちを育てていけたと思います。本当にありがとうございました。

